

学校再開にあたって

新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかかわり、臨時休業の措置をとることになり、生徒のみなさんをはじめ家庭の方々、地域の方々にご心配とご苦労をおかけしました。そのような中でも、臨時休業措置にかかわり、ご理解とご協力をいただき、深く感謝いたします。

さて、学校再開にあたり、本校といたしましては可能な限りの新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて、学校の教育活動を行っていきます。

- 毎朝、検温を行い、健康チェックを行う。発熱やかぜの症状があるときは、ムリをせず、登校をしない。
 - ・引き続き、可能な限り、各家庭での朝の検温及び健康調査をお願いします。発熱やかぜの症状がある場合は、ムリをせず、登校をしないでください(朝、学校にその旨をお知らせください)。
- ドアノブなどの共用する部分を1日1回以上は消毒する。
- 校内ではマスクを着用する。ただし、社会的距離が十分にとれる場合や運動する場合[熱中症防止のため]などは除く。
- 咳エチケットを励行する。
- 可能な限り、社会的距離[1~2m]をとり、対面[真正面]を避ける。
- 可能な限り、窓やドアを開放し、換気を行う。雨天や強風、空調使用時などでは、1時間に2回以上は換気を行う。
- 手洗い(またはアルコールによる手指消毒)を励行する。手洗いは、場所移動をするときや給食(食事)の前後、共用物を使用する前後、トイレの使用の前後などで行う。
 - ・ただし、手洗いは手荒れをしない程度にします。手洗いの仕方がきちんとできていれば、ウイルスは見えただけで感染の心配がないぐらいにウイルスの個数は減っています。

国の緊急事態宣言解除を受けましたが、福岡県や八女市のHPには「宣言は解除されましたが、これで終わりではありません。新型コロナと向き合いながら、社会経済活動のレベルをあげていく、元の生活に戻っていくための新しいスタートであります」とあり、『新しい生活様式』(*裏面参照)の実践を図っていくとされています。

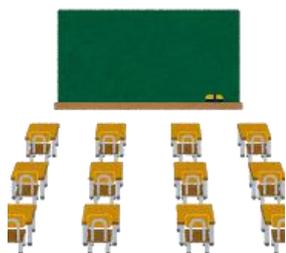
そのような状況の中で、悲しい出来事があります。それは、感染者や濃厚接触者を特定し排除しようとする事案や、医療関係従事者などやその家族を排除しようとするような事案です。

望んで感染する人は誰もいません。だからこそ、細心の注意をはらい、対策を施すのですが、社会生活を送っている以上、感染を0[ゼロ]にすることは困難です。そして、本来ならば、感染した方に対し、「大丈夫だろうか。早く回復してほしい。」となるはずですが、感染を恐れることと人を差別することはまったく違います。正しい判断力をもって、冷静で温かな対応をしていきましょう。

学校再開にあたりまして、引き続き、ご理解とご協力をいただきますよう何卒お願いいたします。



「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」



このことばをモットーとして、西中学校の様々なとりくみを進めていきます。

2, 3年生には始業式の時に、1年生には入学式の時に、“まずは、このことばをおぼえてください(自分のスピードで構わないので)”とお願いしました。先生方にも4月に入ってすぐに、同じことをお願いしました。

これから、みなさんと一緒に、「自分の大切さとは何か」、「他の人の大切さとは何か」、「認めるとはどういうことなのか」を発見したり、考えたりしていきますので、よろしくお願いします。

(文責 木村彰男)

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びにいくなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離がオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定